

Welウェルなかがわ

WelはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第42号

発行 / 2010.12

赤い羽根共同募金運動 実施中!

10/17 ふれあい広場会場で募金活動をする、共同募金キャラクターの「愛ちゃん」

今年も10月1日から12月31日まで、全国で共同募金運動が実施されています。中川区では、様々な形で区民の皆さまにご協力いただいています。

10月2日(土)には、マックスバリュ昭和橋通店にご協力いただき、店頭で街頭募金を行いました。当日は共同募金の助成を受けた2団体(人形劇団あっぷる、九重群団なかよし会)にも募金活動に参加していただき、来店者に協力を呼びかけました。

また10月17日(日)「中川区障がい者と区民のふれあい広場」、10月24日(日)「中川区区民まつり」で、募金の呼びかけやチャリティバザーなどを行いました。「子育て支援ボランティアブ〜フ〜ウ〜」始め多くのボランティアさんに参加していただき、どちらも大盛況のうちに終わることができました。たくさんのご協力ありがとうございました!

この募金は、中川区の地域福祉の貴重な財源として活用されるものです。今後とも皆さまのあたたかいご理解とご協力をお願いいたします。

10/2の街頭募金活動では、子どもさんを始め、8人の方が協力してくれました。

10/24の区民まつりでは、募金していただいた方へのプレゼントとして、「みつば会」の方が手作り作品を寄付してくれました。



今号の内容



赤い羽根共同募金 街頭募金 1	寝具洗濯乾燥サービス 7
赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール 2	地域包括支援センターからのお知らせ 8
第2次地域福祉活動計画ニュース 3~7	寄付のお礼 8

第62回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

たくさんのご応募
ありがとうございました！

区内小中学校の皆さんから、書道1,589点、ポスター418点のご応募をいただきました。
たくさん力作の中から、中川区共同募金委員会と愛知県共同募金会の審査によって、以下の方々
選出されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます！

愛知県共同募金会入賞者

書道の部

銀賞



荒子小学校5年
佐野 美優さん

愛知県共同募金会入賞者 ポスターの部

特賞 名古屋市長賞



野田小学校1年
溝口 ひなたさん

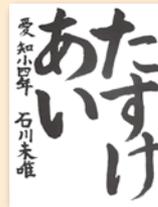
中川区共同募金委員会優秀者 書道の部 (佳作)



常磐小3年
荒川 将輝さん



常磐小4年
湊 翔平さん



愛知小4年
石川 未唯さん



長須賀小4年
森 有咲実さん



常磐小5年
荒川 真穂さん



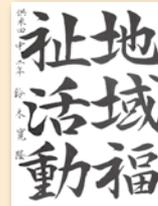
春田小6年
加藤 紗季さん



西中島小6年
村上 曜児さん



長良中1年
山田 康策さん



供米田中2年
鈴木 寛隆さん



中川区共同募金委員会優秀者 ポスターの部 (佳作)



長須賀小1年
北澤 歩奈さん



八幡小2年
伊藤 祐月さん



千音寺小3年
堀田 桜子さん



八幡少4年
稲本 瑞穂さん



篠原小5年
近藤 響香さん



戸田小6年
山澤 梨乃さん



八幡中1年
安江 くるみさん



供米田中2年
近藤 彩香さん



山王中3年
今津 加奈子さん

この優秀作品は10月17日(日)の「障がい者と区民のふれあい広場」で展示されました。

歳末たすけあい募金運動にご協力をお願いします。

12月1日～
12月31日

～みんなでささえあう あったかい地域づくり～



新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、募金運動を実施します。

集まった募金は、ひとり暮らし高齢者等寝具洗濯乾燥サービスや住民参加型福祉活動支援事業(ふれあい・いきいきサロン、子育てサークルなどへの支援)などに活用させていただきます。皆さまのあたたかいご協力をお願いします。

募金受付 中川区共同募金委員会(中川区社会福祉協議会内)



第2次地域福祉活動計画ニュース

その6

6回目となる今回は、シリーズ化した「ふれあい・いきいきサロン」「ボランティアグループ」の紹介、障がい者と区民の方が知り合うきっかけづくりのイベントや地域で活動するボランティアの研修会などを紹介します。



基本計画4 障がい者と交流する機会の拡充

「中川区障がい者と区民のふれあい広場」の開催

前号でもご紹介した「第22回中川区障がい者と区民のふれあい広場」が10月17日(日)に中川区役所駐車場で開催されました。当初は天気心配でしたが、おかげさまで好天に恵まれ、多くの方にご来場いただきました。

ステージでは、7つの障がい者施設・団体が一緒になって何回も練習を重ねた「ふれあい大合唱」、各施設・団体のステージ発表、ゲスト「侍 前田利家ONDO・舞人」による地元ネタを織り込んだ元気な踊りや「Better Days」の演奏などで盛り上がり、模擬店、自主製品などを販売するバザーでは、売り切れが出る程の大盛況でした。

ふれあいステージ



▲ふれあい大合唱



▲ベンチが足りなくなるほど多くの方がステージ前に集合



▶侍 前田利家 ONDO・舞人による演舞

手話体験ブース



▲笑顔でコミュニケーション♪

福祉体験スタンプラリー



▲制覇すると、あめのつかみどり!

易学研究会ブース



▲笹竹・手相・易占いの3種類の占いがある易学研究会のブース

今年初登場で大人気!

また13歳~79歳という幅広い年代の70名以上の住民の方が、ボランティアとして参加し、各ブースで作業所などの仲間や職員さん達と一緒に販売のお手伝いをしたり、障がい者の方などの介助、また駐輪場での自転車整理、各案内や会場内清掃、本部テントでのスタンプラリー景品配布や赤い羽根共同募金の募金活動、ステージ補助などこの事業の運営に関わる様々な活動に協力していただきました。

活動の感想には、「色々な人たちとふれあい、障がい者の方達に明るさと元気をもらった。」(60代女性)「生まれて初めて対面販売をした。自主製品の作品に一生懸命さが伝わってきた。」(70代女性)「以前ボランティアでお世話になった施設の方や利用者さんとも会え、とても楽しかった。」(10代女性)「障がい者の方々が参加できる機会が多いことを祈念します。」(70代女性)などがあり、この活動が楽しい経験と色々考えるきっかけになったようです。

障がいの分け隔てなく、人と人が出逢うきっかけ作りとして、今後もこのようなイベントを推進していきたいと思ひます。

このイベントは、区内の障がい者団体・施設、ボランティア団体、社会福祉協議会などが実行委員になって、企画から検討しながら作っていきます。来年度も10月に実施する予定ですが、できるだけ多くの方達に関わっていただきながら、進めて行きたいと思ひています。そこで、実行委員として私たちと一緒にこのイベントを企画から関わっていただける団体などを広く募集します。詳細は本会までお問い合わせください。

ブース協力：全建愛知 中川・熱田支部、点訳グループ チューリップ、椋山女学園大学 易学研究会
 運営協力：株式会社玉越、中日新聞中川支部販売店、JAなごや、愛知銀行高畑支店、浄福寺、たかばた保育園、石塚外科整形外科 (敬称略・順不同)



基本計画1

ご近所づきあいを大切にしたたまり場づくり

お住まいの地域の身近なところに、誰もが気軽に立ち寄れるたまり場「ふれあい・いきいきサロン」、仲間と一緒に活動するサークルをご紹介しますコーナーです。

今回は、参加者みんなが企画に携わる子育てサークル**ポップコーン**、はつらつ発のサロンをご紹介します。

ポップコーン

- 開催日：毎週木曜日 10:30～12:00頃
- 参加費：400円/月
- 会場：区内の公園や中川図書館集会室
- 対象：子どもとその親

このサークルの歴史は長く、何と昭和62年10月に始まりました。そこから、参加者の子ども達の成長に連れメンバーが入れ替わり続け、現在も元気に17人のメンバーと子ども達で活動中です。

参加者は、荒子学区近辺に住んでいる人が中心で、自分でやりたいことをやり始める2歳以上の未就園の子どもとその親が、友達に誘われたり口コミなどで集まって来ています。

近くの的場公園などで外遊びをしたり、遠足に出掛けたり、図書館で工作をしたり、季節のイベントを楽しんだり、色々工夫して遊んでいます、プログラムは月ごとの3人の当番で企画するそうです。

この日は雨降りにも関わらず、子どもを含め30名以上の参加で、手遊び、絵本の読み聞かせ、ハロウィーンのイベント、フルーツバスケットなどを楽しんでいました。

メンバーは、昨年から参加している人たちが多く、ママも子ども達もすっかり仲良しの様子で、走り回ったり笑ったりはしゃいだり、たまに大泣きしたり…ととても賑やか。現在参加者募集中とのことなので、ご興味のある方は本会までお問い合わせください。



絵本の読み聞かせ中。子ども達は興味津々。



ハロウィーンの記念写真をパシャリ★



基本計画6

福祉体験学習機会の拡大

赤ちゃんとのふれあい体験 ～命の大切さを伝えるプログラムの実施～

「赤ちゃんって重い！」赤ちゃんとのふれあい体験は、生徒たちから思わずそんな声もれる、赤ちゃんにふれ、命の重み・大切さを肌で感じる授業です。

11月15日の昼下がり、中川商業高校では課題研究「社会福祉研究」の時間に3年生の生徒11名が、「安心して子どもを産み、育てるために」「いろいろな人の支えがあって人が生まれ育つ」ことをテーマに川辺先生から講義を受けたあと、保育士さんから親子のふれあい遊びを教わりました。その後計画推進委員を交え、グループに分かれて赤ちゃんを抱っこしたり、お母さんたちから妊娠中や出産のこと、子育てをしながら感じることを聞きました。

授業の後「家族に感謝の気持ちを伝えたい」「子どもに関わる仕事をしたい」といった感想が出されていました。

「子育ては正直たいへん。だから今を楽しんで、子どもが生まれたら子育てを思いっきり楽しんで」と、子育ての魅力を語ってくれたお母さんたち。生徒たちは、他者から大切にされること、自分や他者を大切にすることを、体感しながら学んだのではないのでしょうか。



お母さんから話を聞く生徒たち



胎児の成長について学ぶ



生徒から手作りおもちゃのプレゼント！



講師 「いのちと性を伝える出前講座はぐ」 助産師 川辺恵美子さん
赤ちゃんと母親10組
協力 野田民生委員児童委員協議会、中島保育園、畑田保育園、
中川保健所、計画推進委員

はつらつ発
サロン
増加中!

元気な高齢者・ボランティアが集まる「みつば会」では、みんなで集えるサロン・サークルを続々と作っています。ボランティアさんが色々なプログラムを企画しているサロン、「まずはやってみよう！」という気持ちで参加者同士協力して始めたサロン、基本は外出のお出掛けサロンなど、自分たちのやりたいことを力を合わせて行っています。また、その他、区内の小・中学校で行われる福祉体験学習のお手伝いやイベント協力をするボランティア活動にも積極的に参加してもらっています。社会福祉協議会では、地域活動に興味のある方を応援しています。

会場	名称	開催日・場所	主な内容
⑤ 愛知	おしゃべり同好会	第2水曜午後 愛知コミセン	各種プログラム
⑨ 荒子	おしゃべりサロン荒子	第2・4木曜午後 荒子コミセン	もの作り・カラオケなど
⑩ 篠原	篠原手芸サロン(仮称)	月1回月曜日(不定期) 在宅SC	手芸
⑫ 地区会館	白ゆりサロン	第4木曜午前 地区会館	仲間づくり、もの作り
⑬ 露橋	よつば会	月2回不定期 露橋学区集会所	もの作り
⑭ 中島	つくし会	月1回不定期 各地	外出・手芸など
⑮ 北センター	北サロン	毎月第1金曜午前 北地域センター	もの作り(折り紙など)



基本計画7 地域での福祉啓発活動

社会福祉協議会では、色々な立場の人を理解し、他者への思いやりの心をはぐくみ、福祉のまちづくりを進めて行くために高齢者疑似体験・手話体験・車いす体験など福祉体験プログラムを実施しています。

今年度は、小中学校・高校13校で26回の体験学習を実施または予定していますが、子どもさんを対象にした学習だけでなく、他に広く地域住民の方にもそのような機会を作ろうとしています。

今年は、はつらつ長寿推進事業に参加の元気な高齢者に体験していただき、その体験を活かして、上記のような学校での福祉体験学習にボランティアとして指導していただくという取り組みも進めています。実際学校に行った方達からは、子ども達の笑顔に元気をもらい、良い経験ができたという感想もたくさんいただきました。

このように、地域住民同士の学び合いの機会を、今後も積極的に作りたいと思っています。



手足におもりやサポーターなどをつけあつという間に高齢者！体験

名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業



市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、レクリエーションや健康体操などを通じて「介護予防」に取り組むとともに、地域での仲間づくりを進め、地域活動などへの参加を支援する事業。名古屋市の委託を受け、社会福祉協議会が地域のボランティアと協働で実施。

中川区では通称「みつば会」と呼ばれ、16会場で半年ごとに参加者を募集。各会場定員は20名、参加費は無料。

《開催場所》

曜日	時間	開催場所	
		木曜	金曜
火曜	A M	① 広見コミュニティセンター	⑨ 荒子コミュニティセンター
		② 春田公民館	⑩ 篠原コミュニティセンター
	P M	③ JA 下之一色支店	⑪ 八幡コミュニティセンター
		④ 中川ふれあい広場	⑫ 富田地区会館
水曜	A M	⑤ 愛知コミュニティセンター	⑬ 露橋コミュニティセンター
		⑥ 富永神明集会所	⑭ 中島公民館
	P M	⑦ 昭和橋コミュニティセンター	⑮ 富田北地域センター
		⑧ 東起町公民館	⑯ 助光荘集会所



基本計画9 ボランティアの活性化

ボランティア活動をしている方、しようと思っている方を応援します。

ボランティア登録者の拡大

地域ボランティア秋桜

今回は、中川区内で20年以上も活動が続いているボランティアグループの老舗**地域ボランティア秋桜**を紹介します。

地域ボランティア秋桜のメンバーは、現在女性が14名。区内の高齢者施設や障がい者施設で話し相手や外出支援、日常作業のお手伝い、各施設の行事への協力などのボランティア活動を行っています。

普段は個人で活動しているので、メンバーが揃う毎月の定例会は、お茶を飲みながら活動報告や情報交換などを皆さん楽しそうに行っています。設立当初の昭和62年から活動が続いている方も現役で活躍中。区内の施設にとっては、もうなくてはならないボランティアです。

活動の依頼も多く、現在メンバーを募集中とのことなので、ご興味がある方は本会までぜひご連絡ください。



ボランティアのネットワークづくりの支援

平成22年8月26日(木)、中川区ボランティアセンターに登録している個人・団体ボランティアを対象に**ボランティア交流会**を開催し、ボランティア23名の方にご参加いただきました。

第一部では、中部学院大学短期大学部社会福祉学科准教授の**大井智香子先生**を講師にお迎えし、「**ボランティア活動を楽しもう～ボランティア活動は魔法の切符!?～**」というタイトルで、講義とワークショップを行いました。レクリエーションを通して、ボランティアの必要性や意味、多様性などに気付いていく内容となっていて、参加者からは「ボランティア活動を楽しく頑張ろうと思った」「これからの活動の参考にしたい」等の感想をいただきました。

また**第二部**では、会場の**在宅サービスセンターの施設見学や説明、利用方法の説明**などを行いました。住民の方のためにできた施設なので、ぜひボランティアさんなどに活用していただきたいと思っています。

中川区を中心に活躍するボランティアさん同士の交流を深め、お互いに情報交換などができるよう、今後もこのような事業を開催していきたいと思っています。

また、ボランティア活動に興味がある方は、ぜひ本会までお問い合わせください。



基本計画3 世代間交流の推進

子育てサロンとひとり暮らし高齢者との交流

色めき立つ秋、広見学区地域福祉推進協議会主催の子育てサロン**かるがも親子**の11月の企画は、毎年恒例の「焼き芋」です。

運営ボランティアさんによれば、「来てくださる親子の皆さんには、季節を感じながら楽しんで参加してもらいたい」と秋の風物詩である焼き芋を提供しているとのこと。参加人数分になるようボランティアさんそれぞれが自宅で焼き芋を焼き上げて持ち寄っているのだそうです。

広見学区では、ここでもうひとつ工夫をしています。焼き芋と言えば、昔ながらのおやつ。地域の高齢者の方々も喜んでくれるのではないかと**ふれあい給食会**に参加するひとり暮らし高齢者の皆さんなどに声をかけているのです。高齢者の皆さんは、焼き芋の時間になると一人、また一人と会場にやってきて、温かい焼き芋を美味しく食べてながら、子育て中のお母さんたちとの会話を楽しんでいました。

中川区社会福祉協議会ではこのようなサロン活動などにおける世代間交流事業を推進しています。異世代交流ができる団体がないかなど運営面でお困りでしたらお気軽にご相談ください。





基本計画8

地域福祉推進協議会の活性化

地域福祉推進協議会が実施するふれあい給食サービス事業に従事する民生委員などボランティアの方を対象に、11月16日(火)午後、在宅サービスセンターの調理室・研修室を使って、**ふれあい給食サービス事業研修会**を開催しました。

当日は、保健所の職員によるノロウイルス対策など食品衛生上の注意事項の講義、料理研究家の先生指導で簡単なおやつ作り、調理のコツの伝授、情報交換・交流会などを行いました。

普段はそれぞれの学区で活動している方同士、お互い刺激を受けたようで、「なかなか出来ない交流が出来て良かった」「いろいろと気付きがあるので、またやってください」「衛生面についてあらためて気を付けようと思った」など次回の開催を望むコメントもいただきました。

今後も、このように地域でボランティア活動に取り組む方々を対象に、情報交換や研修の機会を積極的に作っていきたいと思っています。



もちもちの
イチゴ大福&
桃大福♡



レンジでチン♪の
簡単ししび



地域福祉推進協議会

小学校区単位に、地域の各種団体が中心となり、学区住民全体が力を合わせて「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して作られた団体。市内全小学校区265学区に設置。中川区でも全24学区に設置。

ふれあい給食サービス事業

ひとり暮らし高齢者の方などのふれあいを目的に、コミュニティセンターなどに集い、一緒に食事をしておしゃべりや交流を楽しむ食事会や、会場に来られない方に対して配食を行う事業(回数や方法は地域により異なる)。各学区推進協の民生委員などボランティアを中心に実施。中川区では現在19学区で実施。昨年度は延べ9,000人近くが参加。

高齢者 寝具洗濯乾燥サービスのご案内

70歳以上の方

70歳以上の方に清潔で快適な生活を送っていただくため、お布団の洗濯乾燥サービス事業を実施します。

- **ご利用できる方** 中川区内在住で次の①②の世帯かつ前年の所得が一人あたり200万円以下の方で、日ごろ布団が干せない方
 - ①70歳以上のひとり暮らし高齢者世帯
 - ②70歳以上の方のみの世帯※70歳以上=昭和15年12月31日以前にお生まれになった方
※グループホーム等介護保険制度上の福祉施設に入居する方を除く
- **実施日** 平成23年1月中旬～3月末
- **対象寝具** 原則として、申込者が日ごろ使用している敷布団、掛け布団、毛布各1枚ずつで1人あたり3点以内
- **利用料** 無料(ただし、羽毛・羽根布団等特殊な布団や対象寝具3点の組み合わせを変更しての申し込みの場合は利用者負担あり)
- **定員** 600人(先着順)
- **申込方法** **12月17日(金)までに**電話・FAX・郵送等で、**直接、中川区社会福祉協議会へお申し込みください。**



※この事業のお申し込み時にいただいた個人情報は、事業実施以外の目的に利用または第三者へ提供することはありません。
※このサービスは、区民の皆さまにご協力いただきました赤い羽根共同募金と賛助会費を財源としています。

..... 地域包括支援センターからのお知らせ

1月から地域包括支援センターの名称が変わります

11月の広報なごやにも掲載されたとおり、平成23年1月から市内の地域包括支援センターの名称が変更となります。**変更後の名称：「いきいき支援センター」**

名前に恥じないよう、高齢者の皆さんの生活がいきいきとなるよう励んでまいりますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

社協とつうボ企画♪

認知症サポーター養成講座&高齢者疑似体験を正色小で開催!

11月11日の介護の日に、正色小学校の5、6年生を対象に、西部地域包括支援センターが行う認知症サポーター養成と社会福祉協議会とボランティアが行う高齢者疑似体験をセットで学習しました。

中川区では、小学生を対象とした認知症サポーター養成講座は初めての試みだったので、小学生向けに寸劇やグループワークを取り入れるなど、分かりやすく楽しく学べる工夫をしました。

アンケート結果を見ると、児童それぞれに高齢者の心(認知症)と身体(疑似体験)のことを理解してもらえたかなと思います。



認知症のおばあちゃんと孫役が熱演中



「認知症になると大事な
ことまで忘れてしま
うと聞いてびっくりしま
した。」

「認知症の人が不安になっ
た時、周りの人が優しく
することで認知症の人
も楽しく過ごせるん
ですね。」

ご希望の学校・地域団体・グループなどを対象に出張講座などにお伺い
できます。お問い合わせは、担当の地域包括支援センターまで。

中川区内の「いきいき支援センター(地域包括支援センター)」 ※ お住まいの学区により担当するセンターが決まっています。

◎中川区西部いきいき支援センター

所在地：小城町1-1-20 中川区在宅サービスセンター内
電話：352-8258 FAX：353-5879

担当学区

野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、
長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正

◎中川区東部いきいき支援センター

所在地：八熊本通2-27 コーポナカノ1F
電話：354-8343 FAX：354-8341

担当学区

広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、
昭和橋、玉川、中島、西中島

寄付のお礼

寄付金は中川区の福祉の推進に有効に活用させて
いただきます。ありがとうございます。(順不同)

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 中川生涯学習センターまつり実行委員会 様
- その他 匿名



お祝いごとや香典返しに
かえての寄付を受け付け
ております。
香典返しについては、
あいさつ状をご用意いた
します。

編集・発行

社会福祉法人
名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875
名古屋市中川区小城町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052)352-8257
FAX (052)352-3825

メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ
http://www.nakagawashakyo.jp



=この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました=

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。